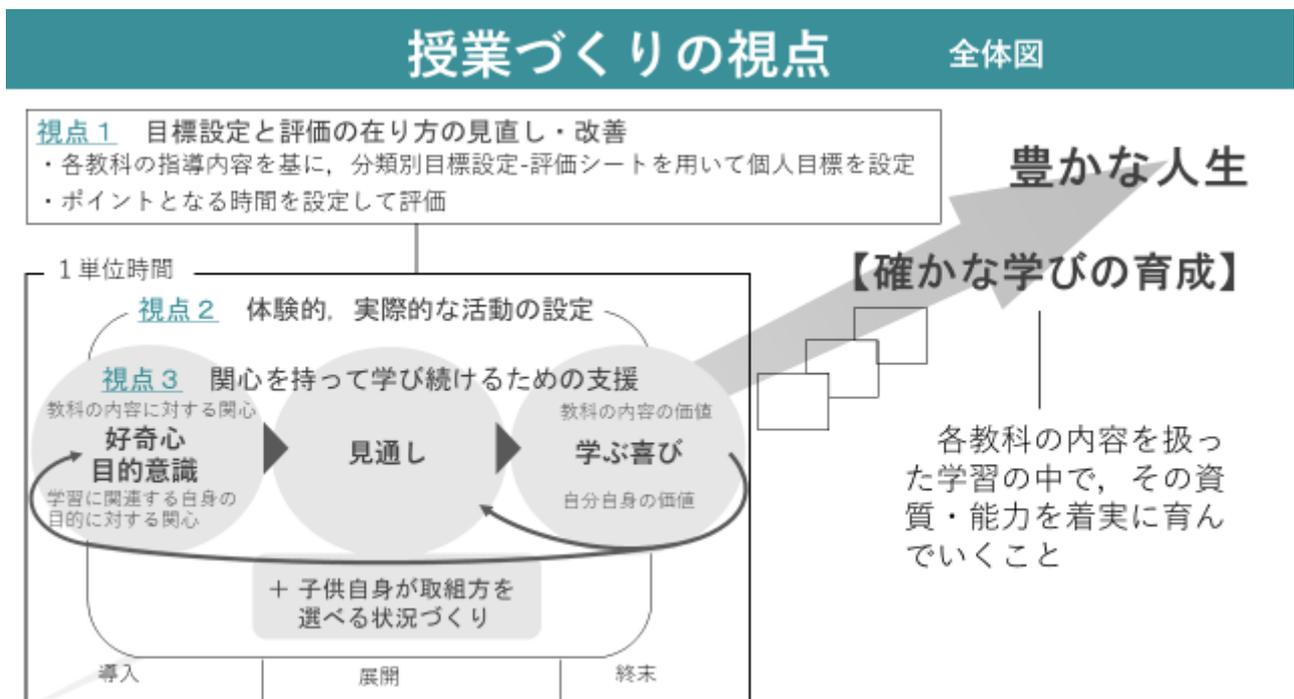


第46回特別支援教育研究会を終えて

校長 樋口 尚



これは、当校の研究を表した図です。今年度は、研究主題である『子供の確かな学びを育む授業づくり』の3年目にあたり、『子供主体の体験的、実際的な活動の展開』を副題として掲げ、特に視点3『関心を持って学び続けるための支援』を重点に取り組んでまいりました。

研究会当日は、全国各地からオンライン及び対面で180名を超える方々にご参加いただきました。授業公開を基にした分科会では、「目指す姿は見られたか」「有効な手立てや改善点は何か」といった視点で活発な議論が行われました。また、対面参加者同士が自由に意見を交わす場である「語り場」では、特別支援教育に対する熱い思いや意見交換が行われ、非常に有意義な時間となりました。さらに、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課調査官・加藤典子様による講演では、特別支援教育の方向性や、資質能力の育成を支える自立活動の重要性について、貴重なお話を伺うことができました。

今後は、今年度の取組の成果と課題を整理し、『確かな学びを育む授業づくり』の在り方をさらに明らかにしてまいります。そして来年度は本研究の最終年次として、これまでの成果をまとめるとともに、子供たちの「豊かな人生」に向けた確かな学びの実現を着実に目指してまいります。

最後に、当校の研究を支えてくださった研究指導・助言者、協力者の皆様、旧同人の皆様、関係機関の皆様、研究会にご参加いただいた皆様、地域や保護者の皆様、そして当校に関わってくださった全ての皆様に、心より御礼申し上げます。引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

2学期を振り返って ～各学部の様子を紹介します～

いろいろなお店にレッツゴー！

小学部1組は、生活科の学習で学校の近くのお店について学習しました。始めは、歩いて近くのパン屋さんへ。店内に広がるいい香り、美味しそうなたくさんのパンにワクワクしている様子でした。続いて本町や古町の商店街のいろいろな店に出掛けました。売っている品物を見て「バナナがあったよ！」「鮭おにぎりが欲しい！」などと、たくさんの気付きや思いが溢れました。学校に戻ると、手に入れた品物をじっくり見たり、味わったりして、喜びをかみしめていました。また、知っているお店が増えるたびに、「次は何屋さんに行くのかな？」「お出掛け楽しみだな」と話をしたり、早く出掛けたくて、いつも以上にてきぱき支度したりする姿もありました。たくさんの新しい「発見」に目を輝かせていた小学部1組の子供たち。3学期も様々な経験ができるよう、取り組んでいきたいと思えます。

小学部1組 池浦 成実



ワクワクドキドキ校外宿泊学習

中学部1・2年生は、10月24日と25日に校外宿泊学習を行いました。午前中は道の駅「阿賀の里」にある「あがり一な」を訪れ、午後は「ゆいぼーと」に移動して1泊しました。事前学習では、生徒たちが施設を調べて紹介し合い、その内容をしおりにまとめました。

「あがり一な」では、ネットジャングルジムやデジタル砂場で元気いっぱい遊びました。また、「阿賀の里」では自分で食券を買い、昼食を楽しむ体験もしました。「ゆいぼーと」では調理活動を行い、カレーライスチームとフライドポテトチームに分かれて役割分担し、協力して夕食を作りました。みんなで作った料理は特別な味で、笑顔で「おいしい！」と味わっていました。

この宿泊学習での貴重な経験を、今後の学校生活にも生かし、中学部全員で引き続き頑張っていきます。

中学部2年担任 清田 勝也



自立に向かって

「自分のことは自分でします！」毎朝、朝の会で自立するための気合い入れの元気な声が教室に響いています。高等部3年生は、「自立」という学級目標を掲げ、自分の良いところを認めつつ、課題に向き合い、日々成長しようと努力しています。「自分は気持ちの切り替えが苦手だから、深呼吸をします。」「自分は嫌なことがあると表情に出てしまうので鏡で笑顔の練習をします。」などと担任に伝えてくれる素直さが素敵な高等部3年生の皆さん。自分の課題や弱さを自覚することは苦しいことですが、自覚できることは素晴らしいことだと思います。自分の弱さや課題を知っている人は努力でき、必ず成長することができます。2学期、皆さんが大きく成長したのは努力したからです。もうすぐ社会人。まだまだ成長できます。自立に向かってこのまま突っ走っていきましょう！全力で応援します。

高等部3年担任 藤田 磨弥

